Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

配布をもって解禁

令和6年7月26日 北陸地方整備局

令和6年能登半島地震からの復旧・復興の加速化に向けた体制強化 〜緊急増員の活用により安定的な体制に移行〜

北陸地方整備局は、令和6年能登半島地震からの復旧・復興の加速化に向けて、七尾市に設置している能登復興事務所および金沢港湾・空港整備事務所について、7月31日に計23人の緊急増員や組織拡充による体制強化を行います。これにより、これまでの併任職員が中心の応急的な体制から、総勢101人の安定的な体制に移行します。

引き続き、被災自治体からのインフラの復旧・復興に係る技術的な相談なども受けつつ、7月1日に設置された能登創造的復興タスクフォースの下、関係機関と連携し、被災地の復興・復旧に取り組みます。

【能登復興事務所】

- ○2月16日 2課・16人体制で設置
- ○4月 1日 56 人体制に規模を拡充
- ○7月31日 増員15人や組織拡充等により

専属で 61 人の体制を構築、8 課・1 出張所に組織拡充

【金沢港湾·空港整備事務所】

- ○2月16日 既存定員に加え9人を併任発令し体制を強化
- ○4月1日 定員26人に加え実員14人を追加配置
- ○7月31日 増員8人や組織拡充等により専属で40人の体制を構築

※参考情報(国土技術政策総合研究所関係)

【能登上下水道復興支援室】

- ○4月1日 3人体制で設置
- ○7月31日 増員1人や組織拡充により専属で3人の体制を構築

《問い合わせ先》

【能登復興事務所に関すること】

北陸地方整備局 総務部 総務課長 勘田 誠一

企画部 企画課長 戸部 啓太朗

電話 025-280-8880 (代表)

管内各県記者クラブ

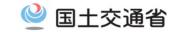
【金沢港湾・空港整備事務所に関すること】

北陸地方整備局 港湾空港部

港湾空港企画官 倉富 樹一郎

電話 025-280-8880 (代表)

令和6年能登半島地震からの復旧・復興の加速化に向けた体制強化



- 国が権限代行等により行う復旧・復興事業を迅速に進めるため、
 - 2月16日に能登復興事務所を七尾市に設置するとともに、金沢港湾・空港整備事務所の体制を強化。
 - 4月1日に能登復興事務所、金沢港湾・空港整備事務所を体制強化するとともに、上下水道の復興に向けた支援の ため、<u>能登上下水道復興支援室を七尾市に設置</u>。
- 7月31日に、本復旧の加速化のため、上記の能登復興事務所等について、計24人の緊急増員や組織拡充等により、 これまでの併任職員が中心の応急的な体制から、総勢104人の安定的な体制に移行。

国の権限代行等による災害復旧(道路・砂防・港湾等)



復旧・復興に係る体制強化の経緯

< **能登復興事務所**(北陸地方整備局)>

2月16日 2課・16人体制で設置

4月 1日 56人体制に規模を拡充

7月31日 増員15人*や組織拡充等により



専属で61人の体制を構築、8課・1出張所に組織拡充

<金沢港湾・空港整備事務所(北陸地方整備局)>

2月16日 既存定員に加え9人を併任発令し体制を強化

4月 1日 定員26人に加え実員14人を追加配置

増員8人※や組織拡充等により専属で40人の体制を構築

< **能登上下水道復興支援室**(国土技術政策総合研究所)>

4月 1日 3人体制で設置

7月31日 増員1人**や組織拡充により専属で3人の体制を構築

※計24人の緊急増員

上下水道の復旧・復興に係る支援

- ○全国の自治体の上下水道職員や関係団体などと連携し、上下水道の応急 復旧の支援を実施。
- ○被災市町の復興に向けて、地域の意向を踏まえ、災害に強く持続可能な 将来にふさわしい上下水道の復旧・復興に係る支援を行う。



浄水場から配水池へ向かう 水道管の破損・露出(輪島市)



可搬式浄水装置の設置 (珠洲市)



再度災害防止に向けた 被災メカニズム調査(輪島市)